



2025 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 資 生 堂
 代表者名 代表執行役 社長 CEO
 藤原 憲太郎
 (コード番号 4911 東証プライム)
 問合せ先 IR 部長 大島 由紀
 (TEL. 03-3572-5111)

通期業績予想の修正および米州事業のれんの減損損失計上に関するお知らせ

当社は、2025年2月10日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。
 また、2025 年 12 月期第 3 四半期において米州事業ののれんの減損損失を計上することとなりましたので、その概要についてもお知らせいたします。

1. 2025 年 12 月期 通期連結業績予想(2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

	売上高	コア営業利益	営業利益 又は損失 (△)	税引前利益 又は損失 (△)	親会社の所有 者に帰属する 当期利益 又は損失 (△)	基本的 1株当たり 当期利益 又は損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	995,000	36,500	13,500	14,500	6,000	15.02
今回修正予想(B)	965,000	36,500	△42,000	△42,000	△52,000	△130.17
増減額(B-A)	△30,000	—	△55,500	△56,500	△58,000	
増減率(%)	△3.0%	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	990,586	36,359	7,575	△1,265	△10,813	△27.06

(注) 1. コア営業利益は、営業利益から構造改革に伴う費用・減損損失・買収関連費用等、非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しています。

2. 2025 年 12 月期 通期想定レート

前回発表予想: ドル=145 円、ユーロ=155 円、中国元=20 円

今回修正予想: ドル=148 円、ユーロ=168 円、中国元=20.5 円

2. 修正内容と主な要因

売上高については、日本におけるインバウンド消費の減速、米国における市場の減速や「Drunk Elephant」の回復遅れなどにより、当初予想を下回る見込みです。

コア営業利益については、売上減からくる差益減、米国の関税政策による影響等はあるものの、グローバルで推進しているコスト構造改革効果や、全社を挙げてのコストマネジメントで相殺し、前回予想どおりとなる見込みです。

営業利益、税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、米州事業の収益性低下を受けて実施した減損テストの結果、のれんの減損損失 468 億円を計上したことなどから、前回予想を下回る見込みです。

3. 米州事業のれん減損損失について

当社グループでは、のれんについて企業結合のシナジーから便益を得ると見込まれる資金生成単位に配分し、毎年および減損の兆候が存在する場合にはその都度、減損テストを実施しています。米州事業資金生成単位について、米州事業の収益性が低下していることから減損の兆候があると判断したため、第 2 四半期に続いて第 3 四半期末でも減損テストを実施した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、2025 年 12 月期第 3 四半期の当社グループ連結決算において、468 億円の減損損失を計上することとしました。

なお、当該減損損失の計上等を起因とした、当社が保有する資生堂アメリカズ Corp.に係る関係会社株式の実質価額の低下に伴う評価損を、2025 年 12 月期の個別財務諸表において計上する見込みです。当該評価損は個別財務諸表のみで計上されるものであるため、連結業績および将来の見通しに影響を与えるものではありません。

4. 配当予想

本業績予想の修正に伴う 2025 年 12 月期の配当予想に変更はありません。当期は、中間配当 20 円(実施済)、期末配当 20 円と、年間 40 円の配当を実施する予定です。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上